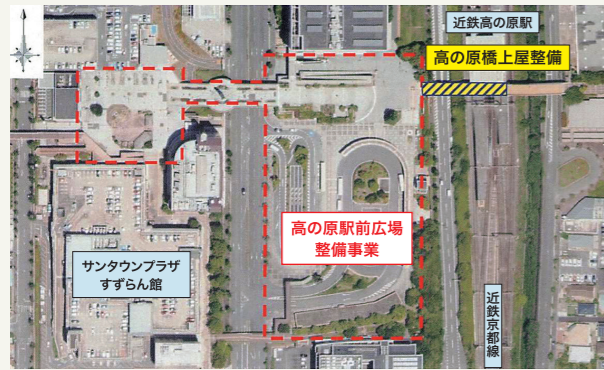


## 市政情報

### 高の原駅前広場がリニューアルへ (令和7年12月定例会・補正予算等特別委員会)

奈良市・木津川市・精華町の3市町にまたがる平城・相楽ニュータウンエリアが、まちびらき50周年を迎えたことを契機に、**高の原駅前広場整備**が令和7年度から9年度までの工事期間で進められています(債務負担行為15億6,200万円)。あわせて、近鉄高の原駅改札口に架かる高の原橋については、**補修工事**が令和6年度から8年度まで実施され、さらに同橋の**耐震補強工事**が令和10年度以降に予定されています。また、令和8年度予算には、高の原駅改札口から**駅前広場まで連続した上屋を整備**するための設計業務委託費が計上されています。

これらの事業とは別に、高の原駅周辺については奈良市バリアフリー基本構想が令和7年度に策定され、今後は特定事業計画の中で具体的な整備が進められます。これまで駅前広場ではエスカレーターが撤去された経緯があり、地域からは代替となる**エレベーター設置を求める声**が寄せられています。私からは、こうした課題も含め、広場周辺整備にあわせて基本構想に沿った駅前環境となるよう、議会において取り上げました。



高の原駅前広場整備に関連した航空写真

### 期日前投票所の混雑状況が見える化 (令和7年10月総務委員会)

令和7年7月に執行された参議院議員選挙、奈良市長選挙、奈良市議会議員選挙では3つの選挙が重なったこともあり、期日前投票所ではピーク時に2時間待ちのケースもあったとの報道がされました。これを受け、私は昨年10月の総務委員会で、次回以降の各級選挙においてはリアルタイムで混雑状況が分かるようなシステムを導入してはどうかと提案をいたしました。

結果、2月執行の**衆議院議員選挙では可視化システムがウェブ上で確認**できるようになりました。今後も投票率向上に向けて改善提案を続けて参ります。



期日前投票所の混雑状況が一目で分かるように

## あをがきのあとがき

今回の代表質問では里山政策を取り上げ、奈良市内でも出沒が報告されているツキノワグマ対策や緩衝帯整備など、安全に暮らすための取組の重要性をお伝えしました。またイメージ写真のような森林に囲まれた空間で安心して遊び、学び、過ごせる環境づくりの提案も同時に行いました。

近年は猛暑で子どもたちが屋外で遊べる環境が少なくなるなか、木陰で過ごせる環境は、子どもたちにとって大きな価値があります。また私自身、子育て世代として子どもと自然の中に出かける機会がありますが、奈良市には家族で一日ゆっくり過ごせるテーマパークが少ないのが現状です。里山を適切に整えながら、こうした体験型の場づくりにつなげていくことも、これからの奈良の可能性の一つだと考えています。



市政報告

# あをがき通信

Vol.25

夢  
安  
奈  
良  
づ  
く  
り  
、  
づ  
く  
り  
、  
づ  
く  
り



奈良市議会議員

# 太田こうじ



## 3月定例会のご報告

平素より私の政治活動に温かいご理解を賜り誠にありがとうございます。令和8年度予算を審議する3月定例会では、一般会計で過去最大規模の1,950億円の予算が計上され、物価高騰対策や各種条例改正など、市民生活に直結する重要議案について審議が行われました。2月27日から3月26日の会期中、私は**本会議で会派を代表しての一般質問**を行い、行財政改革、駅を中心とした県市連携、新クリーンセンター建設、部活動の地域展開、健康増

進施策、里山政策等、市政の重要課題について質しました。また**予算決算委員会**で**所管の総務分科会**では、防災対策、地域医療、移住促進などの課題について質しました。

採決では事業の妥当性や財源のあり方について課題も指摘されています。今号では定例会の概要を紹介しています。引き続き市民目線を大切に、責任ある議会活動に取り組んでまいります。

- 経歴 昭和54年(1979年)奈良市生まれ。市立あやめ池小学校卒、大阪明星中学・高等学校卒、関西学院大学法学部卒  
平成25年(2013年)7月より奈良市議会議員(現在4期目)  
自由民主党会派に所属  
総務委員会 副委員長、議会運営委員会 委員、議会改革推進特別委員会 委員

- 連絡先 奈良市議会議員 太田晃司事務所  
〒631-0033 奈良市あやめ池南5丁目2-18  
TEL: 0742-40-5015  
FAX: 0742-40-5016  
Mail: info@otakoji.net

### 太田こうじ公式サイト

これまでの市政報告はホームページの書庫からもご覧いただけます。

<https://www.otakoji.net>



### 各種 SNS でも情報発信しています!



フェイスブック公式ページ  
<https://m.facebook.com/otakoji.nara>



Ameba 公式ブログ  
<https://ameblo.jp/otakoji-nara/>



フェイスブック公式ページ



Ameba 公式ブログ

# 3月定例会

3月定例会では、令和8年度一般会計予算議案等について、3月24日の予算決算委員会採決において共産党から組み替え動議、私が所属する自由民主党会派から修正予算が提案されましたがいずれも否決されました。その後、公明党会派からの修正予算が提案され可決されました。

その後、本会議において3月26日に予算決算委員会で議決した内容が可決致しました。その修正内容は右記の通りとなります。

右記表のとおり総額15億7,440万3千円の減額となり、一般会計予算は**1,934億2,559万7千円**で議決されました。

自民党会派が独自に修正を提案した事業も含め、修正議決された理由については右記QRコードよりアメーバブログに私の見解を記載させていただいておりますので別途ご確認をいただければと考えております。

## ◎修正予算可決後に当初から減額された事業

事業名	個別経費名	金額
循環型社会形成推進経費	生ごみ処理機購入経費	1億5,000万円
	生ごみ分別モデル事業協	1,800万円
(月ヶ瀬)温泉整備事業	設計業務委託費	1,250万円
	ポイラー等整備工事費	3,900万円
学校規模適正化推進経費	鼓阪小学校閉校記念費	126万5千円
	行事用消耗品費	13万5千円
	閉校記念誌費	130万3千円
遠距離通学児童生徒通学対策経費	遠距離通学児童生徒通学対策経費	120万円
	病院事業会計貸付金	10億円
		15億7,440万3千円

その他、債務負担行為として東部地域学校給食調理・配送業務委託の限度額5億1,800万円を削減



## 会派代表質問で取上げた主な質問 (3月定例会)

### 学校部活動の地域展開

文部科学省が進めようとしている地域展開について奈良市議会では、12月定例会において、平日・休日を一体として学校管理外へ移行する方針は拙速であり、受け皿となる地域クラブの未整備や制度設計の不十分さから、子どもや保護者への影響が大きいとして、減額修正を求めました。あわせて、外部委託による指導員派遣は、本来の地域展開ではなく事業者依存型である点も指摘しました。

これを受け、3月定例会では外部委託を見直し、市直轄により部活動指導員を確保する予算が提案されましたが、依然として事業全体の設計や所管部署が明確でなく、どの部局が責任主体として企画・調整・実施を担うのか不透明が指摘されました。

本市の部活動の地域展開は、根本である体制設計と責任体制の整理が未了のまま進められている点に課題があると考えます。子どもたちにとって中学校生活はわずか3年間しかありません。こうした大切な時期に不安や混乱を生じさせることのないよう、保護者や生徒への丁寧な説明を行うよう強く要望いたしました。

※令和8年4月から教育部学校教育課、市民部文化振興課、スポーツ振興課にそれぞれ部活地域展開推進室が設置されます。

- 国** 休日 → 平日へ段階移行 (R8~R13)
- 奈良県** 休日のみ先行 (R8~)
- 奈良市** 平日 + 休日を同時移行 (R8~)

国は段階移行、県は休日先行である中、本市は平日・休日の一体移行を図っており、時間軸に乖離が生じています。

### 学校体育館への空調整備

近年の猛暑による児童・生徒への影響が深刻化する中、体育館における授業環境の確保や災害時の避難所機能の向上が求められています。

体育館空調整備予算は12月定例会で提案されましたが、**スポットバズーカ方式**については、強い送風に伴う騒音により式典や授業での支障が懸念されることや、風が直接当たることによる体感のばらつき、空間全体を均一に冷却できない点などのデメリットが指摘されました。このため、**小学校分のみが可決**され、中学校および高等学校分は減額修正となりました。



他市学校体育館でのスポットバズーカの設置事例

3月定例会では、残されていた中学校および高等学校分の空調整備予算が提案されました。自民党会派としては、市内でモデル校を選定したうえでリースによる試験的導入を行い、効果検証を踏まえて段階的に判断すべきと主張しましたが、賛同は広がりませんでした。**57億円以上**の経費をかけて小中高の空調整備を行う以上、元利償還金の70%を地方交付税で措置する手厚い財政支援制度(緊急防災・減災事業債)の適用を行うとはいえ、メーカー1機種だけに頼る整備方針には慎重な判断を行うべきと意見しました。

結果、中学校については非常用電源の整備が盛り込まれるなど一定の改善が図られ、これらの対応を踏まえ、3月定例会において**中学校および高等学校分の予算が可決**されました。

## 会派代表質問で取上げた主な質問 (3月定例会)

### 駅を中心とした県市連携について

**太田** 大和西大寺駅周辺では、駅周辺ロータリー整備は一段落したが、**開かずの踏切問題、北側市有地の入札不調、南側民間施設の老朽化**といった課題が重なっている。これらは県市連携が不可欠なテーマだ。大和西大寺駅の高架化に関して県との協議は12月以降どのような内容が話し合われたのか。合わせて市としては、そもそも西大寺駅周辺を奈良市の西部の副都心として、どのような都市像を描いているのか、南北一体での再構築ビジョン策定の考えを問う。

**市長** 大和西大寺駅付近の渋滞踏切道対策については、昨年12月以降奈良県・奈良市・近鉄の部長級で3回の会議を行い、交通シミュレーション調査の手法や速効対策の検討の方向性などについて調整している。

西大寺駅は、市民のみならず、奈良県民、そして奈良を訪れる方にとっての玄関口であり、重要な交通結節点であると認識している。本市としては、未来に向けたまちづくりという点では、交通利便性を生かした都市機能の集積、歩行者中心の魅力ある都市空間の形成に向けて、今後の人口推計、モビリティをはじめとする技術革新など将来のまちのあり方を見据えながら、広域的な視点で地域の皆様や関係機関等様々な方と議論を深めていくことが重要と考えている。



奈良県提供による大和西大寺駅を高架化したイメージ (令和7年5月30日知事記者会見資料)

**CHECK!** 大和西大寺駅は本市の東西南北を結ぶ重要な交通結節点であり、開かずの踏切をはじめとした渋滞対策を抜本的に進めることで、駅周辺のまちづくりは大きく前進する可能性を秘めています。

この課題は**県市連携**なくして解決できるものではありません。知事と市長が方向性を共有し、スピード感を持って意思決定を行うことが不可欠です。今後の本地域の方向性が広く注目される中で、具体的な成果を着実に示していくことが求められています。

### 奈良市ポイント制度について

**太田** 奈良市ポイント制度は、市民の健康づくりや事業参加を促すインセンティブとしての役割を果たしてきた。高齢者など継続的に参加してきた市民に対するフォロー策をどのように講じるのか。個別事業は継続されるのか、それとも整理・再編されるのか問う。

**市長** 継続的にご参加いただいた市民の皆様へのフォロー策としては、それぞれの活動が停滞することがないように取り組んでいきたいと考えており、これまでのポイント対象事業を、「SHIKA no ASHIATOを活用してポイント付与を継続するもの」、「ポイント付与は廃止するが事業は継続するもの」、「事業自体を廃止するもの」の3つに整理した上で、ポイント付与や事業を継続するものについては、それぞれの事業について参加者の皆様に丁寧な説明を行いながら、スムーズに移行できるよう努めていく。



奈良市ポイント制度とアプリ「SHIKA no ASHIATO」

**CHECK!** 奈良市公式アプリ「SHIKA no ASHIATO」は令和6年に観光振興を目的とし、一方で**奈良市ポイント制度**は平成27年に健康増進や社会参加の促進を目的として運用されてきました。いずれもポイント付与により市内店舗での割引等のサービスが受けられる仕組みであり、利用者また受け入れ側の事業者の両者ともに混同を少なからず招いているとの声をお聞きしてきました。

奈良市ポイント制度は令和8年度をもって終了となりますが、これまで培ってきた健康づくりやボランティア参加促進の仕組みは重要であり、単に終了させるのではなく、今後は「SHIKA no ASHIATO」を活用することで、これらの機能を引き継ぎ・発展させていくべきと意見しました。

<一般質問で取り上げたその他の項目>

- ・行財政改革について
- ・新クリーンセンター建設について
- ・人と自然が共生する里山政策の構築について